

平塚市在宅医療・介護連携推進事業の取組について

令和3年度の取組（実績）

①現状分析・課題抽出・施策立案

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集

医師会・歯科医師会・薬剤師会の会員を対象とした医療機関等を把握した。神奈川県への登録情報から介護事業所を把握した。

○医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用（ホームページでの情報提供）

市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を更新した。また、「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を更新した。

（イ）在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討

○平塚市在宅医療・介護連携推進協議会の開催

第1回：令和3年8月5日開催

平塚市の取組について

第2回：令和3年11月11日開催

平塚市の在宅医療・介護連携推進における課題の抽出

第3回：令和4年3月27日開催

認知症総合施策について

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

○終末期に向けた活動支援事業など

終末期における意思表示について支援をするために、エンディングノートなどの活用を含めた事業を行った（令和3年6月から配布開始した）。

○情報通信機器を用いたカンファレンス（退院時共同指導）

医療・介護関係者の情報共有体制の構築推進のため、市内病院における退院時のオンラインカンファレンスの導入について支援を進めた。

②対応策の実施

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

○医療機関と介護事業所の情報共有

情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」を活用した。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営

地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センタ

一等に対し在宅医療・介護連携に関する相談支援を行った。

○医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応した。医療・介護に関する情報を連携支援センターホームページなどで情報提供を行った。

(カ) 医療・介護関係者の研修

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○多職種が連携するためのグループワーク等の研修

・佐藤内科医院佐藤医師と平塚共済病院訪問看護ステーションさくら泉山看護師を講師に招き、ケアマネジャー、薬剤師、看護師等を対象に「医療知識とケアの学びシリーズ」として～高齢者の循環器疾患とケアについて～をテーマにZoomによるオンライン研修を開催。(参加44人)

・まちむら内科クリニック町村医師とへいあん訪問看護ステーション齋藤看護師を講師に招き、ケアマネジャー、薬剤師、看護師等を対象に「医療知識とケアの学びシリーズ」として～高齢者の糖尿病とケアについて～をテーマにZoomによるオンライン研修を開催。(参加39人)

○医療・介護関係者に対する研修

・医療・介護職を対象に、動画で見よう!!介護サービスのあれこれ in ひらつか 第3回訪問入浴編「知っておきたい訪問入浴」をひらつか地域介護システム会議訪問入浴連絡会が講師として映像をYouTube配信。

(キ) 地域住民への普及啓発

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○朝日新聞社の編集委員(石飛 徳樹氏)を講師に招き、「この世を生き切る醍醐味～樹木希林さんのインタビューを通じて～」をテーマに講演会を実施した際の動画を視聴する会を2回開催した。(11月5日、17日)

令和4年度の取組（予定）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集

三師会の会員を対象とした医療機関等情報を把握、神奈川県への登録情報から介護事業所の最新情報を得る。

○医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用（ホームページでの情報提供）

市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を更新。

また、「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を更新。

○ひらつかわくわくマップの更新

平塚市ホームページ（ひらつかわくわくマップ医療介護ページ）で市内の医療機関、介護事業所の位置情報を更新（市）

（イ）在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討

○平塚市在宅医療・介護連携推進協議会の開催

第1回：令和4年8月4日開催

第2回：令和4年11月予定

第3回：令和5年3月予定

認知症総合施策についてなど

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

○終末期に向けた活動支援事業など

終末期における意思表示について支援をするために、「平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会」を開催する。またエンディングノートなどの活用を含めた事業を行う（令和3年度より配布中）。

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

○医療機関と介護事業所の情報共有

情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」を活用する。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営

地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等に対し在宅医療・介護連携に関する相談支援を行う。

○医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応する。参考となる相談、解決策についての医療・介護に関する情報を連携支援センターホームページなどで情報提供を行う。

(カ) 医療・介護関係者の研修

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○多職種が連携するためのグループワーク等の研修

- ・急性期病院職員と包括・居宅のそれぞれで情報交換会、事例検討会を開催する。
- ・薬剤師と介護職との多職種連携についての人材育成セミナーを開催する。
- ・「終末期」をテーマに医療・介護関係者、施設職員を対象とした多職種学習会を開催する。

○医療・介護関係者に対する研修

- ・在宅・施設で働く医療者・介護者・市民を対象に「動画で見よう！！」として訪問看護、居宅介護支援事業所のサービス内容の紹介を YouTube で配信する。

(キ) 地域住民への普及啓発

(平塚市在宅医療・介護連携支援センター)

○地域住民向け講演会などの開催

- ・介護予防教室等地域からの依頼で職員が講義を行う。また、11月19日にひらしん文化芸術ホールにて講演会などを開催する。

○地域住民向け YouTube の配信

- ・「動画で見よう！！」シリーズの訪問看護と居宅介護支援の動画を YouTube で配信する。

以 上